

氏名	川 畑 秀 俊
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	博 甲 第 867 号
学位授与の日付	平成2年3月31日
学位授与の要件	医学研究科内科系内科学(二)専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	間質性肺疾患における細胞性免疫に関する研究 第1編 びまん性汎細気管支炎における末梢血インターロイキン 2レセプター (IL-2R) の検討 第2編 特発性間質性肺炎・膠原病肺における末梢血インターロイ キン2レセプター (IL-2R) の検討
論文審査委員	教授 太田善介 教授 辻 孝夫 教授 赤木忠厚

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

第1編ではびまん性汎細気管支炎 (DPB), 細気管支型 HTLV-I 関連細気管支肺胞異常症 (HABA-B) において, 末梢血の血清 soluble interleukin-2 receptor (sIL-2R), 単核球培養上清 sIL-2R, interleukin-2 (IL-2) にたいする単核球の反応能, リンパ球表面 IL-2 receptor (IL-2R), ヘルパー T 細胞表面 IL-2R, 末梢血リンパ球サブセットを検討した。HABA-B では IL-2R に関する全てのパラメーターが高値を示し, DPB においても同様の高値が認められた。IL-2R 陽性細胞は CD4/CD8 と関連し, また DPB の臨床病期の進行に IL-2R の高値が平行しており, DPB における細胞性免疫異常に IL-2R が関与していることが示唆された。

第2編では特発性間質性肺炎 (IIP), 膠原病性間質性肺炎 (IPCVD), 肺胞型 HTLV-I 関連細気管支肺胞異常症 (HABA-A) において同様の検討を行った。HABA-A ではやはり高値を示し, HTLV-I による免疫異常としての IL-2R の上昇が示唆された。IIP では一部のパラメーターの高値を認め, IPCVD では sIL-2R の高値と細胞表面 IL-2R の低値との解離を認めた。また, IIP, IPCVD のいずれにおいても, ステロイド投与群では IL-2R の低下を認め, ステロイドによる修飾の可能性が示唆された。また, IPCVD における sIL-2R の高値は必ずしも T 細胞活性化の指標とは限らず, T 細胞の破壊や B 細胞活性化も反映すると思われ複雑な免疫現象が示唆された。以上の結果より原因不明の難治性肺疾患である IIP, DPB において IL-2R に媒介される細胞性免疫異常の存在が推察された。

論文審査の結果の要旨

第1編ではびまん性汎細気管支炎 (DPB), 細気管支型 HTLV-I 関連細気管支肺胞異常症 (HABA-B) において, 末梢血の血清 soluble interleukin-2 receptor, リンパ球表面 IL-2 receptor (IL-2R) 等について検討し, HABA-B, DPB における細胞性免疫異常に IL-2R が関与していることを示した。第2編では特発性間質性肺炎 (IIP) などについて同様の検討を行い IIP, DPB において IL-2R に媒介される細胞性免疫異常の存在を推察した。これらは臨床的に重要な新知見であり, よって本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。